

WEEKLY REPORT

No.952

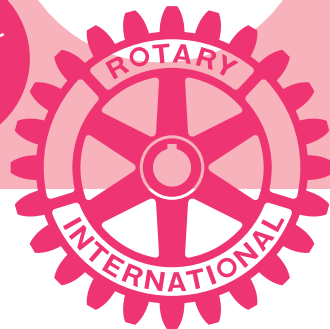


国際ロータリー第2530地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 佐久間 英一
会長 宮崎 登志行
幹事 采女 真弓



人類に
奉仕する
ロータリー



第42回例会 H.29.5.31 (水) ☀

▶開会点鐘 ▶ロータリー歌斉唱「我らの生業」 ▶四つのテスト唱和 松川義行さん

▶ゲスト紹介 采女真弓 幹事

ゲスト 牧 公介パストガバナー (船引RC)

本田哲夫 中央分区ガバナー補佐 (郡山南RC) 町田 晃 中央分区幹事 (郡山南RC)

会長挨拶

宮崎登志行 会長

先週、台湾新竹東北区RCの30周年記念式典に、私、味戸誠一郎さん、小口憲太郎さんが行ってまいりました。新竹東北区RCの30周年記念誌と、次年度予定しているグローバル補助金を使った南投県の給水施設のプロジェクト計画書を回覧しますのでご覧ください。また、日曜日の郡山西北RC40周年記念式典に参加いただいた皆様ありがとうございました。

挨拶

本田哲夫 中央分区ガバナー補佐(郡山南RC)

1年間がまもなく終わりますので御礼にまいりました。ガバナー補佐としてお訪ねさせていただくのは4回目になります。地区大会、インターシティミーティング、各クラブの周年事業等にも積極的にご出席いただき、地区・分区の活動を盛り上げていただきましてありがとうございました。

挨拶

町田 晃 中央分区幹事(郡山南RC)挨拶



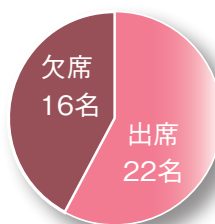
本田ガバナー補佐と一緒に訪ねさせていただきましたことは、私の貴重な財産になることと思います。1年間ありがとうございました。

IMでもご紹介させていただきましたが、次々年度の2018-19年

度に、全日本ロータリークラブ親睦合唱祭を郡山で開催する予定です。全国から600名ほどのロータリアンが集まります。皆様にも参加していただくとともに、全国の方々をおもてなしのお手伝いをいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

出席報告

小林悦子 副委員長



総 員 38名
出席率 57.89%
前回修正率 100%

スマイルBOX報告

佐藤洋子 委員長

②牧 公介様

②本田哲夫様 ▶1年間お世話になりました。ありがとうございました。

②町田 晃様 ▶1年間大変お世話になりました。

②鈴木 尚子 ▶牧様にはお忙しい中を卓話をお引き受けいただきありがとうございます。

②鈴木かおる ▶牧先生、本日はありがとうございます。

②佐藤 功一 ▶大変お世話になりました。

②宮崎登志行 ②津野順子 ②小林悦子 ②高橋 功

②大山三起雄 ②蔭山寿一 ②橋本弘幸 ②滝田幸子

②佐藤 洋子

幹事報告

采女真弓 幹事

地区研修・協議会の参加御礼が届いております。

佐藤功一さん

5月25日の母の葬儀に際しましては皆様からご厚誼をいただきましてありがとうございました。

ロータリーの友6月号のご案内

蔭山寿一 広報委員長

ロータリーの友6月号の縦書き33・34ページに、郡山アーバンRCのベトナム国立交響楽団の楽譜寄贈に関して、鈴木尚子さんの投稿が掲載されていますので、ぜひお読みください。



プログラム／ゲスト卓話

■ゲスト紹介 鈴木尚子 国際奉仕委員長

2007-08 年度ガバナーの牧公介様にお忙しいところお越しいただきました。牧様は私の会長年度のガバナーで、委員会活動の活性化と基盤づくりの重要性について、一人の力は小さくても、それが結集されて偉大な力となり、クラブや地区の課題が達成できるロータリーマジックの体験者となるのが大事であると教えてくださいました。分かち合う心を持ち、慈愛の種をまくために「あなたがたの片方の手を貸してください」と伝えてくださいました。先生はアメリカに留学され、20 年を海外で過ごされました。私の娘もGSEでお世話になりました。今日のご指導よろしく願いいたします。



牧 公介 パストガバナー

過分なご紹介を頂き恐縮しております。日頃より地区のために力を尽くしておられることに感謝申し上げます。ロータリーの基礎と国際奉仕は密接につながっているものであり、表裏一体とも言えるのではないかと思います。

私は国連に勤務し、任地はユネスコ本部のあるパリでした。そこを拠点に、国連に加盟する国や地域の教育制度調査官として世界を回りました。一緒に仕事に携わった仲間から電話があり、周年記念行事で現状を見に行かないかと声が掛かり、サハラ砂漠の西にある西アフリカを希望して現地にまいりました。ユネスコ勤務の間で最も関心の強かった場所のひとつであり、現状を確かめたいと思ったからです。飛行機を何度も乗り換えてコートジボアールに行き、ジープに乗って汗と土埃にまみれながら現地に着きました。そこには今もまだ多くの難民テントがあり、現職の時にいった時と一向に変わっていませんでした。むしろテントが大きくなり数も増えて、収容される人数が増えていました。

多数のテントの中にやや小さいテントがあり、入り口には「死を待つ人の家」と書かれた札がぶら下がっていました。現地の日本大使館の書記官の案内で中に入ると、文字通り死を待つ 20 人ほどの女性がいて、その中で懸命に看護している女性たちがいました。かつてドイツ領であったことから、ドイツ政府が派遣した人たちで、経費は全てドイツ政府の教会税で出しています。世界で苦しんでいる人たちのために奉仕者を募り、派遣しています。死を待つ女性たちは奉仕者から髪をすいてもらい、体をふいてもらい、感謝の言葉を言っていました。

私たちロータリアンの奉仕はいろいろな形があります。奉仕する理由のひとつは、私たちは多くの生き物の命によって支えられていることです。日本人の感性は欧米の人たちには理解できない場合もあります。日本人は、他の生き物の命を奪うことによって命を保ち、生かされているという気持ちを忘れてはいけません。欧米の人たちは、神様がいろいろな生き物を作り、人間が生きるための食物として与えたから、感謝していただければ良いと考えます。

ロータリーには 5 つの委員会があり、その中に社会奉仕委員

会があります。「社会」は「コミュニティ」を訳したもので、古いうた文語では一人では生きられないものという意味があります。人間はそのような存在であることを自覚し、お互いに支え合う奉仕が生まれます。片方の手で自分の仕事に一生懸命に取り組み、もう片方の手は社会のために他の人と共に力を出し合って奉仕に努めなさいという意味です。ロータリアンとして、世のため人のためになるようなことに、惜しまず、いとおずに取り組み、この世界を少しでもましなところにしていければと思っています。これからもロータリアンとして一人では生きられないコミュニティに生きる人々と共に、助け合い、分け合ってまいりましょう。皆様の今後のご健勝とご健闘を心からお祈りします。

ロータリー財団寄付者

■橋本弘幸 ■宮崎登志行 ■鈴木尚子 ■高橋 功
■松川義行

米山記念奨学会寄付者

■津野順子 ■宮崎登志行 ■橋本弘幸 ■滝田幸子
■高橋 功 ■大山三起雄 ■鈴木尚子 ■佐藤洋子
■白岩邦俊

ポリオ寄付者

■宮崎登志行 ■橋本弘幸 ■小林悦子

▶ 閉会点鐘

2017-18 年度 国際ロータリー第 2530 地区
地区研修・協議会開催

5月21日(日)に東京第一ホテル新白河において地区研修・協議会が開催され、鈴木かおるさん、鈴木尚子さん、小口憲太郎さん、松川義行さん、藤田弘美さん、長尾 勉さん、小林悦子さんが出席しました。

